

# グループホーム「ポランの家」通信

2009. 4. 29 NO24

余市町大川町8丁目1番地 TEL 0135-22-1577 発行責任者 橋本武雄

鯉のぼりが青空を元気に泳ぐ、とても気持ちの良い季節となりましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

いよいよ山菜とりの季節ですね。でも余市川支流にはく山親爺>が目を覚まし、歩き回っているようです。どうぞ気をつけて山菜とりにお出かけ下さい。私が春一番に食べる山菜はやはりく露あきの薑とうの天ぷら>ですね。そのほろ苦さにく春>を感じます。

ポランの家の庭にもネギ・パセリ・イチゴ・三つ葉・アサツキ・行者ニンニク・山椒の木が青く育っています。驚いたのは、ほぼ放任的に栽培しているアスパラが4月20日太い芽を出しました。

入居者の方たちも、元気に春を楽しんでいます。4月25日はポランの家の開設記念日ですので、お寿司の出前を取って食べました。

どうぞ皆様、機会の折ポランの家にもお立ち寄り下さい。お待ちしております。

## Vaiorin to Poran no Hiroba

### 第3回 ヴァイオリンと

#### ポランの広場コンサート

=ヴァイオリンの音は 春の雪に輝き=

今年も3月11日、北海道農民管弦楽団の代表、牧野時夫さんと余市室内楽協会の板谷知子さんをお願いをしてヴァイオリンとピアノのミニコンサートを開きました。ヴァイオリン演奏曲の古典の他に「春よこい」「月の砂漠」などはヴァイオリンとピアノの演奏に合わせ、皆で楽しく歌いました。

コンサートにはポランの家の運営推進会議の皆さんも出席して下さいました。



### 節分には皆でお稲荷さんと恵方巻あまのまききを…「私も、お稲荷さん作れたね」

節分の日の恒例行事、今年もお稲荷さんと恵方巻きを皆で作って食べました。

いつも「私、手が痛いから」と見ていることが多いSさんが、スタッフの「一緒に作りましょ」という声かけで、お稲荷さん作りを始めました。上手にできました。

そのSさん、目に一杯涙を浮かべ「私も、お稲荷さん作れたね」とつぶやいたのです。

Sの作ったお稲荷さんは、皆さんのより少し《しょっぱい》味がしたかも知れませぬ。



## 助け合い

朝の食事の前に、車椅子生活のIさんの髪をNさんが優しく梳かしてくれました。

いい光景だなと思い、急いでカメラを取りに行き、シャッターを切りました。



## 金魚草の花が咲きました

お花の好きな、Sさん。いつもお部屋には色々な花が咲いています。

「いつの間にか芽が出てきて、大きくなって花が咲いたの！」金魚草でした。何か御伽<sup>おとぎ</sup>噺<sup>ばなし</sup>のようです。でも3月に金魚草が咲くとは驚きです。



## あんた、いい男だね

気をつけて帰るんだよ！

と言われたらちょっと帰りには「焼き鳥でも」思っている、真っ直ぐ我が家に帰るしかありません。

入居された頃のIさんは、とても心配でした。近いうちに、入院でもしなければならぬかな、と思う位でした。しかし、最近の介護認定ではなんと介護度が(1)改善されたのです。嬉しいですね。入居時より介護度が改善されたのはポランの家で、この方が始めてです。

毎日、台所に立って食器洗い、食器拭きと手伝ってくれています。下の写真は皆、平等にと真剣に盛り付けをしているところです。



## 支える人を支える

2月の末に、私は<余市町認知症の人を支える家族の会>主催の<認知症を学び語る会>で少しお話をさせて頂く機会がありました。

その時の資料を同封致しますので、どうぞ御笑読下さい。

政府もハシゴ外しばかりしていないで、ハシゴしっかり支えていて欲しいですね。





至福の時 ゆったりと煙草を吸う  
《ドクターから1日3本だけよ》



あなたも早くお嫁に行くのヨ……

お節句に皆で桜餅を作る  
あんこが飛び出ているもの 大きいの小さいの  
《みんな違ってみんないい》と言ったのは童謡詩人  
＜金子みすず＞です



日常の風景

ポランの家

フォトギャラリー

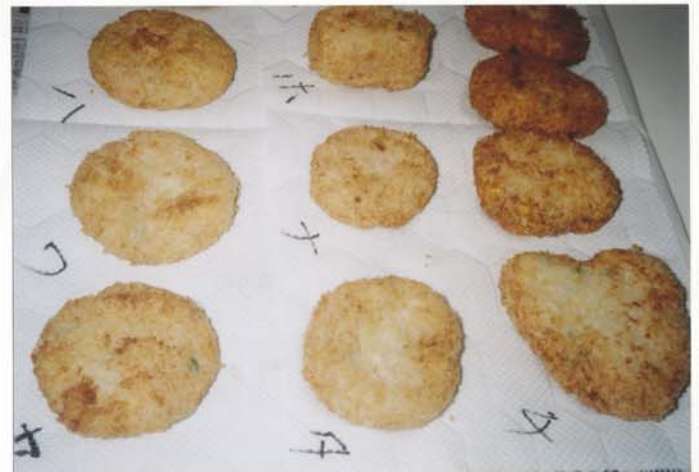


101歳の誕生日



101歳 節分にお稲荷さんを作る

ご家族の皆様へ（通信）

皆で作った＜金子みすず流＞コロッケです